

日本遺族通信

平成27年12月15日
第780号

編輯 日本遺族会
〒100-0001 東京都千代田区千代田
九段第一丁目六番七号
電話 03-3261-5521
01160-6-25389
振替 郵便局発行人 和上和男
毎月1回15日発行
定価 1部130円(税込)

日本遺族会は国の礎となられた英霊顕彰をはじめ、戦没者の遺族の福祉の増進、慰霊救済の道を開くと共に、道義の昂揚、品性の涵養に努め、世界の恒久平和の確立に寄与することを目的とする。

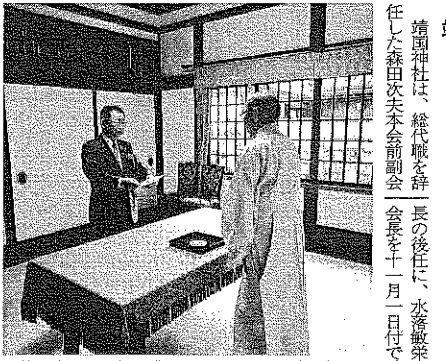
28年度 遺家族議員協議会に陳情 遺骨収集の拡充強化等求める

平成二十八年度の政府予算編成時期を迎え本会では、今後の運動方針等を決定し、山積する諸問題解決のため、公務扶助料等の増額改定、戦没者遺児の慰霊友好親善事業の充実、遺骨収集推進事業等の拡充強化といった要請事項の完全実現を目指し、十二月十日に遺家族議員協議会総会での陳情を経て、十二月十五日に全国戦没者遺族大会を開催し、自民党所属国会議員へ陳情を行う。



遺家族議員協議会総会から出席した自民党衆参両院議員等に日本遺族会の要望を訴える水落敏栄会長(参議院議員)＝12月10日、参議院議員会館で

十二月を迎え、政府は平成二十八年度政府予算の編成作業に着手した。本会では、概算要求がなされてはいるが、何分にも厳しい財政状況の中であること、年末の予算編成に向けて、政府に対し理解を得るために本会は十二月十五日、第七十一回全国戦没者遺族大会を開催することを決定した。この大会に向け、



徳川室司より総代職の辞令を受け取る水落敏栄本会会長(参議院議員)＝11月24日、靖国神社で

厚生労働省との関係が重要事項の実現に向けて協力をお願いする。また、十一月十日には、会長はじめ副会長、専務理事、常務理事らが出席し、自民党所属国会議員(氏名は新年一月号に掲載)に陳情し、本会の主な要請事項は、戦没者遺族の生活向上への種である公務扶助料、遺族年金等の増額要求、また、国の慰霊事業である戦没者遺児による慰霊友好親善事業の一層の充実に、さらには、未だ海外に眠る遺骨の早期収集を求めることである。



総代として初の昇殿参拝を終えた水落会長＝11月24日、靖国神社で

靖国神社は、総代職を辞した長谷川室司に代り、水落敏栄本会会長を十一月一日付で靖国神社に任命した。水落会長は「靖国神社に総代職に就任した旨の奉告参拝を行った。参拝後、水落会長は「靖国神社総代職という大変重い責任に就任し、身の引き締まる思いです」と述べた。

遺骨収集推進事業等の拡充強化、全国戦没者追悼式への国費参加者の増進等についてである。十一月十日、全国戦没者遺族大会終了後は各都道府県の遺族代表が、国会、自民党本部に赴き、それぞれ地元選出の自民党所属国会議員に面会し、本会の要請事項の実現に向けて理解と協力を求める陳情運動を総力を挙げて行う。

奉納菊花展を開催 靖国神社

靖国神社において毎年恒例となつての奉納菊花展が十月十六日から十一月五日にかけて開催され、境内の特設ヨシズ張り帳舎に色鮮やかな美しい菊花大輪が奉納展示された。



総代として初の昇殿参拝を終えた水落会長＝11月24日、靖国神社で

靖国神社奉納菊花展は昭和二十一年から始まり、今年で六十回目を迎えることになり、秋の気配に合わせた色鮮やかな菊花を奉納し、境内のヨシズ張り帳舎に展示された。奉納された菊花は、十一月二十六日には、靖国神社において奉納菊花展の表彰式が行われ、次の作品に日本遺族会賞が贈られた。

新年一月号より文字が大きくなります
日本遺族通信

日本遺族通信 年間定期購読のお知らせ

毎月、お手元までお届けする年間定期購読です。戦没者の英霊顕彰(遺骨収集、慰霊友好、慰霊巡拝)、遺族の処遇改善等々の遺族関係の情報を掲載しておりますので、是非、この機会にお申し込みください。

年間購読料 / 1,560円 (1年間 12回 税金・送料込)
お申込み 日本遺族会事務局 ☎03-3261-5521

戦後70年の節目の年となり、目下は「戦争を知らず」に育った世代、自分自身への反省、自問自答の時期である。国民の八割が戦後世代、何分自身への反省が、70年というキーワード、様々なメディアで扱われた、某新聞の懇話会による、70年の節目には三つの意味があった。一つは戦争体験者が極めて少なくなつた状況で、戦争の実態を語り継ぐための積極的な誌面を通じ国民に歴史の事実をいかに認識してもらうか。二つ目は歴史認識の問題、中国や韓国に加え同盟国である米国との外交関係もある、日本としての明確な見解の必要性。三つ目は国際情勢の流動化。冷戦構造が崩壊し、日本が近隣諸国とのような関係を結ぶのか、併せて安保法制が国民への理解が十分に行き渡つたとは言えず、今後も法制が円滑に同知される事の重要性、それぞれのテーマに接し改めて自らの姿勢を問われ、速やかに行動を思い知らされた。特に戦争の事をほとんど知らない若い世代、近現代史を学ばなかつた世代、彼らに日本が歩んできた歴史を、戦争の悲惨さ、平和の尊さをどう伝えるか。本会青年部の発足ももう一息、全国各都道府県の若い力に期待し継承を確実にと思つてある。▼ラッキーの五郎丸選手を決めポーズ。両手を合わせ信念を持って祈る。来年が節目の年より一歩前進するよう、あの決めポーズにある。

賞状 君島外見
賞状 吉野光華
賞状 沼田慶美
賞状 鈴木 守
(順不同 敬称略)

初詣は靖国神社へ

御本殿にて参拝しましょう

◎主な催し 新春福引き・全国神社奉納絵馬展・振舞い酒・甘酒(無料)

靖国神社社務所 電話 03-3261-8326 詳しくは 靖国神社

一般財団法人 日本遺族会への賛助金のお願い

日本遺族会では、英霊顕彰や遺族援護など様々な活動のために賛助金を募っております。本会は、これまで英霊の顕彰並びに戦没者遺族の福祉増進をはかるため、日々活動を行って来たところでございますが、東日本大震災により収益部門であった九段会館が閉館したことに伴い、現在、慰霊友好親善事業をはじめ遺骨収集等各種事業の継続が大変厳しい状況にあります。

本会といたしましては、各種事業を行うにあたり、今後とも努力していくことは勿論のことですが、戦没者遺族並びに本紙の購読者、本会の諸事業にご賛向される皆様方より一層のご支援・ご協力を仰がなければなりません。

本会の活動の趣旨にご理解を賜り、何卒ご賛同いただきますようお願い申し上げます。大変恐縮ですが、ご賛同いただいた方の氏名を本紙に掲載し、お礼に代えてさせていただきます。

賛助金のお振込みは

●郵便振替 00130-2-694929
●みずほ銀行 九段支店 普通預金 0980930
口座名はいずれも「一般財団法人日本遺族会(ザイ)ニホンイソクカイ」

※賛助金につきましては、誠に勝手ではございますが、お一人様1万円程度からお願いしております。

※ご不明な点は本会事務局(電話03-3261-6521)までお問い合わせ願います

父の眠る三地域を慰霊巡拝 各地で友好親善深める

日本遺族会では、戦没者遺児による慰霊友好親善事業のトラック・バラオ諸島、ソロモン諸島、ミヤンマー地域を実施した。ソロモン諸島ではトラギ島を五年ぶりに、ミヤンマーではアキヤブを四年ぶりに訪問。三地域に総勢百四十人の遺児が参加し、父の眠る地において慰霊の誠を尽くすと共に小学校や病院等を訪問し、学用品や松葉杖等を寄贈、友好親善も行った。

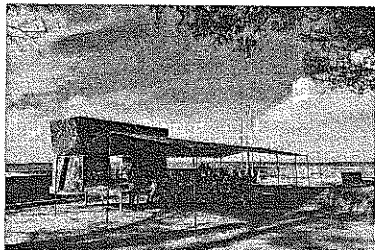
トラック 諸島

横山益郎本会常務理事(新潟県連合遺族会会長)を総括団長とするトラック・バラオ諸島慰霊友好親

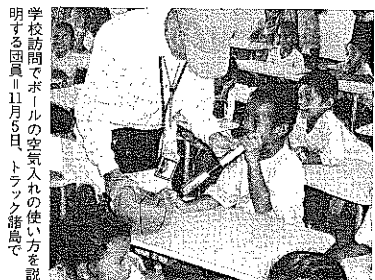
善訪問団参加者遺児三十人は、十一月一日、成田空港を出発し、グアムに到着。その後一連に分かれトラック諸島(ミクロネシア連邦、ニューケ州)、バラオ諸島(ニューギニア州)に向けそれぞれ出発し、亡

父の眠る地に第一歩を印した。トラック諸島は春島、トラック環礁西・南水道津上、竹島を小廻りで巡り、個人慰霊祭や積年の思いを込めて語りかけ、亡き父を偲ぶ。

バラオ諸島はバラオ本島、アンガウル島、ベリリユー島で慰霊祭を行い、祭壇に故郷から持参した品々を供え、亡き父の冥福を祈った。トラック諸島は春島で、バラオ諸島は本年四月九日に天皇皇后両陛下が拝礼されたベリリユー島「西太平洋戦没者」で



天皇皇后両陛下が拝礼された「西太平洋戦没者の碑」で学んだ戦没者追悼式=11月5日、ベリリユー島で



学校訪問でボールの空気入れの使い方を説明する同員=11月5日、トラック諸島で

没者の碑の前で戦没者追悼式を厳粛に挙行。ご英霊に感謝の誠を捧げ、また、両班とも現地の小学校に団員が持参した学用品等を寄贈し、記念撮影活動に携わるなど、病院へ松葉杖を寄贈するなど、友好親善を深めた。

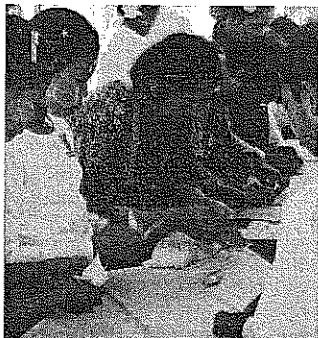
ソロモン諸島 中井清秋本会理事、会長とするソロモン諸島慰霊友好親善訪問団は十一月七日、金国の遺児十九人が東京、結団式を行い、同夜成田空港を出発し翌日午後ソロモン諸島の首都、ガダルカナル島ホニアラに歩を印した。翌九日にはカミンボ岬、アルゴ川、ボネギ川、マ

マラ川と昭和十八年二月、戦況不利により撤退を余儀なくされた地域周辺の島西の方で慰霊祭を行い、積年の思いを語りかけた。また十日には船舶を借り上げ、五年ぶりとなるトラギ島を訪問し、海軍警備隊の慰霊碑跡地で慰霊祭を臨む。イサム・コノボ川を下り、西八連の戦艦比叟沈没点洋上へ、五年ぶりに船中川下流西方地域周辺の川中川下流小川上流、百武台・川戸川を

の洋上慰霊祭を行い、墓石を折った。翌十一日、昭和十七年八月、ハンダーソン飛行場が敵手中に陥し、奪取のため熾烈な戦闘が展開された高小川上流、百武台・川戸川を臨む。イサム・コノボ川を下り、西八連の戦艦比叟沈没点洋上へ、五年ぶりに船中川下流西方地域周辺の川中川下流小川上流、百武台・川戸川を

ミヤンマー 慰霊友好親善訪問団総括団長・市来健之助本会副会長他五十五人は、十一月十四日にヤンゴンへ出発した。十三日、三班に分かれ、A班はオクトイン、西ア、タンギー、キャウキ、タウイ、パンターテ、モルメ、D班はミートキ、マンダレー、サガイン、メイクテラ、バガイン、C班はカレワ、アキヤブでそれぞれ慰霊祭を行い、ミヤンマーの大地で亡き父への想いを深めながら語りかけた。

また、A班はベグラーのカドウィンチヤン小学校、B班はバガインの西フアン村小中学校、C班はアキヤブのバンドウタジ小学校を訪問し、団員が持ち寄った



子供たちに日本の折り紙を教える団員=11月17日、ミヤンマーで

27年度ファイリピン二次を計画

好事業 友事 慰霊 追加 慰追

日本遺族会が、厚生労働省から補助を受けて実施している「戦没者遺児による慰霊友好親善事業」では、ファイリピン二次を平成二十八年一月二十五日から三十日五泊六日(予定)で追加事務局へ。なお、過去参加者で五年(平成二十一年度事業を計画し、参加者を募

集している。また、今回の追加事業では、日程の中で本会役員とともに自身も同僚の下に出発し、計画する予定である。参加費は、参加費 十万円、旅費 十万円、その他 集金場所は、東京部内等に集金し、結団式及び渡航に係る閉会を行う。また、移動に係る国内交通費及び帰国時の宿泊代等は個人負担となる。

以前参加を過ぎた方は、再度申込みができる。募集要項は次の通り

▼参加費 十万円
▼旅費 十万円
▼その他 集金場所は、東京部内等に集金し、結団式及び渡航に係る閉会を行う。また、移動に係る国内交通費及び帰国時の宿泊代等は個人負担となる。

以前参加を過ぎた方は、再度申込みができる。募集要項は次の通り

以前参加を過ぎた方は、再度申込みができる。募集要項は次の通り

本会への賛助金のお礼

つきまして、ご賛同いただきました左記の方々に、お礼申し上げます。なお、大変恐縮ではございますが、送金方法により居住地域が特定できない場合がありますので、省略させていただきます。

賛助者名(敬称略): カタカナ名は銀行振込、漢字名は現金書留

阿部博子、小山田三子、新堀敏子、飯田嘉彦、竹中明子、澤井善久子、増田光子、井上一子、樋口裕明、幸鈴、京聖、光英、田口川島、高橋秀一、鈴木昭夫、川島義美、阿部和美、徳田きよみ、青柳純子、廣田悦子、上村敬治、大洞幸子、青木正雄、稲橋幸子、小林ヨキ、大久保博子、柳岡真石川千穂子、岡崎千穂子、木村浩子、百瀬幸子、齊藤一夫、不破幸雄、松本千賀雄、大塚照美、石井佐智子、平井誠、岸一郎、ナカノカズユキ、アサミチユウゾウ、ササキチヨウ、ムラカミヨシ、サトウアキラ、タケナカカズコ、ホリワチ

本紙(両面)でもお願いしている本会への賛助金に

つきまして、ご賛同いただきました左記の方々に、お礼申し上げます。なお、大変恐縮ではございますが、送金方法により居住地域が特定できない場合がありますので、省略させていただきます。

賛助者名(敬称略): カタカナ名は銀行振込、漢字名は現金書留

阿部博子、小山田三子、新堀敏子、飯田嘉彦、竹中明子、澤井善久子、増田光子、井上一子、樋口裕明、幸鈴、京聖、光英、田口川島、高橋秀一、鈴木昭夫、川島義美、阿部和美、徳田きよみ、青柳純子、廣田悦子、上村敬治、大洞幸子、青木正雄、稲橋幸子、小林ヨキ、大久保博子、柳岡真石川千穂子、岡崎千穂子、木村浩子、百瀬幸子、齊藤一夫、不破幸雄、松本千賀雄、大塚照美、石井佐智子、平井誠、岸一郎、ナカノカズユキ、アサミチユウゾウ、ササキチヨウ、ムラカミヨシ、サトウアキラ、タケナカカズコ、ホリワチ

本会事業参加者の皆様へ
本会の事業に参加するに当たり、得た個人情報は一本人情報保護法の定めにより、厳重に扱います。日本遺族会の個人情報保護方針につきましてはホームページを参照されるか、本会にお問い合わせください。

コムソモリスク 周辺を調査

民間慰霊碑 日本遺族会は、厚生労働省から委託を受けて実施している民間慰霊碑調査事業を十月六日から十三日までの八日間、ロシア連邦のパロフスク地方コムソモリスク、ピソゴールナヤ周辺で実施した。調査団は今年度同地において慰霊碑十四基の形状や大きさ、材質、碑に書かれた内容などを調査し、地権者を特定するため、各地の行政機関を訪問した。各行政機関では、副市長、村長らと面談し、慰霊碑の地権者が行政機関の管轄地であることを確認。また、慰霊碑に関する情報や意見、地権者側からの要望などを聞き取りし、各行政機関からは「慰霊碑は抑留の歴史を後世に伝える重要なものなのでこのまま残して欲しい」との意見が寄せられた。本会からは、地権者の意向を厚労省へ報告することを伝えた。

昭和館巡回特別企画展

和歌山で六、七八一人が来場

昭和館が毎年実施している巡回特別企画展「もつと知りたいたい戦中・戦後のくらし」が、平成二十七年十月三十一日から十一月八日まで和歌山県和歌山市の和歌山県民文化会館展示室で開催された。戦中・戦後の国民生活上の苦労を伝えるこの展覧会では、開催地の和歌山県に開催する実物資料・写真・手記・映像が多数展示され、幅広い年代の来場者が訪れた。

東部の九段下にある昭 会場には、六、七八一人も団体見学で訪れ、展示を和館では、毎年二万所すつ 約二百八十七点の展示資料 にものぼる来場者が訪れ、巡回特別企画展を開催して のうち、和歌山県に開催す 五人目の来場者は記念品が贈られた。会期中には、平成二年から開始する約百四十七点の資料が昭 県内の小、中学校の生徒達に、二二八回目の開催と 介された。

遺書

愛しき此のへ

陸軍兵長 小寺 正雄
昭和二十年七月十五日
フイリピンレイテ島にて戦死
兵庫県姫路市十二所前町出身 三十四歳

再び召されて戦野に征く。
日本の女子と生まれ来て此の喧古の大戦に遭ひ、その夫が異國難に馳せ参するについては、御身の決心も自ずからついてゐた事と思つて居る。温室に育つて社会の辛苦も未だ味はへる事少なき御身には、様々の難路も横たはつて居るやも知れぬ。唯願ふは正彦の為に強く正しく生き抜いて呉れん事のみ。
尚、御身には頑固に見える父であるが、僕にとつては唯一の親、宜しく頼む。

正彦へ
未だ西も東も判らぬ乳児なるも、やがては国難に逝きし父の心事も解る時が来ると思ふ。
幸、不幸は心の持ち方如何に依る。唯願ふは将来国家有為の人材とならん事。父は清國の宮居より汝が成長を見守つて居る。
母を大切にせよ。

昭和十九年四月三十日

【原文のまま】
平成二十七年十二月靖国神社頭場
愛しきものへ

展示には、戦地から和歌山県に住む家族に送られた軍事郵便の数々や、昭和二十年七月九日の和歌山空襲の焼跡の写真や手記など、戦中・戦後の和歌山県にゆかりのある資料が紹介された。また、県内に住む「遺族の方々の慰霊活動や洋画展などの活動も紹介され、来場者の目を引きつけた。



展示資料を熱心に見る生徒たちで賑わう会場
=和歌山市で

九段短歌

暁つまる思ひに響きぬ「君が代」をペリリユの人
唱ひければ 青森県 田中 恭子
日の御旗また宇の読めぬ妹へ父が送られてくれし線
はがき 鳥栖市 松尾美津子
兵の父並になりて帰りに願ひ待ちしに秋風の吹く
大阪府 高岡 千鶴

胸つまる思ひに響きぬ「君が代」をペリリユの人
唱ひければ 青森県 田中 恭子
日の御旗また宇の読めぬ妹へ父が送られてくれし線
はがき 鳥栖市 松尾美津子
兵の父並になりて帰りに願ひ待ちしに秋風の吹く
大阪府 高岡 千鶴

出陣の征子は父の筆字なり一枚の赤紙により名付れる
戦死せし父の最期を知らせるロシヤより戦後七十
年経て 足利市 西村三千代
暮れゆけば野に風吹きぬ清國の父が背中に立ちあ
るやうな 甲州市 数野 星子
朝七時バスへ向きて手をあはす十月二十六日父の

生野(労働委員)と平和折念 講演会「伝えたいあの日、あの時の記憶」を開催し、和歌山県伊都郡から、町選族連合会会長、高木雄雄氏の体験談「戦後遺児の」さらには、合同企画

両陛下下フイリピン訪問
お出迎え参加者募集
宮内庁は十月十三日、天訪れ、献花されることも検討されている。
皇陛下が平成二十八年一月後半にフイリピンを訪問されること調整して、お出迎えと同様に、フイリピン南東にある政府建立の慰霊碑、比島戦没者の碑を、両陛下のお出迎え事業を左

硫黄島遺骨収集帰還
掘削立会を再開
厚生労働省は、今年九月から湯水などの理由で中断していた硫黄島戦没者遺骨収集帰還の掘削立会を十一月より再開した。
掘削立会は、防衛省が実施し、遺骨の確認を核として、掘削作業を行うことを目的として、掘削立会を再開した。

命日
上田市 滝澤まさ子
富士吉田市 菅沼 勝由
清國の庭に立ち出で空眺め幾年過ぎし月日数へる
呉市 尾茂田夏江
アンガウルの影影望み拝礼すこべリリユのオム
石岡市 小山 満江
ルウム岬 千葉市 石橋 壽子
添へられし桜紅葉の裏面に「靖国神社の秋の墨筆」

物忘れが増えたら 要注意!!

年を取ったからといって、必ず物忘れが増えるわけばかりいっていませんか？
脳明瞭でなく、この違いはどこにあるのか？
調べてみると、意外な事実が分かった。「人間の脳細胞は年齢とともに減少し、再生しない」と、百年にわたる信じられてきた定説が覆されたのだ。一九八八年、アメリカとスウェーデンの研究チームは、学習に関わる脳細胞が大人の脳内で新たに作られていることを確認。また、日本とアメリカの共同チームは、脳細胞に必要な栄養を与えることで脳細胞の増殖・分裂に成功した。つまり、老化によっておとろえてしまった脳も若返るというわけだ。

そこで注目を集めているのが「核酸」。核酸が主原料の健康食品を摂取したモニターは、脳年齢を調べてみたところ、なんと八七・五歳の被験者の脳年齢が若返ったという。

東京都にお住まいの久久保幸子さん(82歳)に話を伺った。二年前から急に物忘れが増え始め、ついには台所の火を消し忘れてしまい、あわや大惨事！そんな時、出合ったのが「脳内核酸」。しばらくして、頭の中で引がかつていた重みがスッと取れて軽くなった。今では戸締りも、火の元もしっかりと確認できるまでに回復しました。

後継成分を服用したモニターの脳年齢の推移

脳年齢	服用前	服用1か月後	服用3か月後
85歳	61歳	54歳	54歳
80歳	61歳	54歳	54歳
75歳	61歳	54歳	54歳
70歳	61歳	54歳	54歳
65歳	61歳	54歳	54歳
60歳	61歳	54歳	54歳
55歳	61歳	54歳	54歳
50歳	61歳	54歳	54歳
45歳	61歳	54歳	54歳
40歳	61歳	54歳	54歳
35歳	61歳	54歳	54歳
30歳	61歳	54歳	54歳
25歳	61歳	54歳	54歳
20歳	61歳	54歳	54歳
15歳	61歳	54歳	54歳
10歳	61歳	54歳	54歳
5歳	61歳	54歳	54歳

脳内核酸 1瓶(31日分)白(240錠) ¥6,500
脳内核酸 1瓶(31日分)黒(240錠) ¥6,500
脳内核酸 1瓶(31日分)白(240錠) ¥6,500
脳内核酸 1瓶(31日分)黒(240錠) ¥6,500

あなたの脳年齢は何歳ですか?

0120-04-9898
0120-04-9896
0197-0822

脳内核酸
1瓶(31日分)白(240錠) ¥6,500
脳内核酸 1瓶(31日分)黒(240錠) ¥6,500

脳年齢検査
脳年齢検査
脳年齢検査